

平成 29 年度秋季岡山県高等学校軟式野球大会予選 D ブロック 第一代表決定戦 2017 年 09 月 24 日
矢掛高校 VS 井原高校 @水島中央公園野球場

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
矢 掛	0	0	3	3	1	0	0	0	0	7
井 原	3	0	1	0	0	0	0	0	0	4

矢：花岡、森上一小池

文責：松森 李紀（普通科探究コース）

矢掛高校の先発マウンドには、1年生右腕の花岡（木之子中）が上がる。

- 1 回表、矢掛高校の攻撃。相手左腕の直球が決まり、簡単に三者凡退となる。
- 1 回裏、井原高校の攻撃。二死から制球を乱し、連続四死球を与え、ピンチを招く。ここで次打者に中前打を放たれ、1点を奪われる。さらに続く打者に痛烈な右越二塁打を放たれ、さらに2点を追加される。後続は何とか二ゴロで抑えたが、初回から3点を失う苦しい立ち上がりとなる。
- 2 回表、矢掛高校の攻撃。二死から森上（総社西中）が四球で出塁するが、後続が三振に抑えられ、無得点。
- 2 回裏、井原高校の攻撃。花岡はプレッシャーから制球が定まらず、三連続四球を与え、満塁とされる。しかしここは花岡が踏ん張り、一死から遊直併殺で切り抜けこの回は無失点。しかし、矢掛高校は3点を追いかける劣勢の展開。
- 3 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の花岡が、この試合初安打となる右前打を放ち出塁。さらに打撃好調の上山（木之子中）も中前打を放ち無死一・二塁。続く佐藤孝太（木之子中）は犠打を決められず、三塁封殺。さらに、三振で二死となったが、大山（小北中）の内野安打で1点を返す。さらに盗塁で二・三塁とし、猪原（高屋中）の打席で捕逸の間に佐藤孝太が生還し1点差。なおも二死三塁で猪原の内野安打で同点に追いつく。矢掛高校は、この回一挙に3点を奪い、同点とする。
- 3 回裏、井原高校の攻撃。同点に追いつきリズムをつかみたい花岡であったが、先頭打者に中越二塁打を放たれる。さらに犠打で、一死三塁のピンチを迎える。ここで詰まった当たりが内野安打となり、1点を勝ち越される。矢掛高校はまたも追いかける展開となる。
- 4 回表、矢掛高校の攻撃。先頭打者の森上が四球で出塁し、続く真砂（木之子中）が左越三塁打を放ち、同点に追いつく。さらに一死から上山が四球で出塁し、盗塁も決める。ここで、代打：小川（真備中）が打席へ。小川は内野安打を放ち、勝ち越しに成功する。さらに盗塁で一死二・三塁とし、三澤（真備東中）の内野安打、大山の中前打で3点を追加し、逆転に成功する。
- 4 回裏、井原高校の攻撃。再びリードをもらった花岡は、リズムを取り戻し、この試合初の三者凡退でイニングを終える。
- 5 回表、矢掛高校の攻撃。一死から真砂が痛烈な中越走本塁打を放ち、1点を追加。後続は抑えられるも、真砂の活躍により、チームに一体感が生まれる。
- 5 回裏、井原高校の攻撃。先頭打者に死球を与え、盗塁を決められるが、花岡が意地の二奪三振で無失点。
- 6 回裏、井原高校の攻撃。二死を奪うが、中前打を放たれ、出塁を許す。ここで矢掛高校のピッチャー交代。森上がマウンドへ。森上は勢いのある直球で三飛に抑える好リリーフ。
- 7 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の猪原が中前打を放つも、盗塁死。後続が抑えられ、追加点を奪えない。
- 7 回裏、井原高校の攻撃。一死から死球を与えるが、無失点。
- 8 回表、矢掛高校の攻撃。一死から守備で途中出場の中村（矢掛中）が内野安打を放ち、犠打で塁を進める。さらに追加点を奪いたいところだが、後続が続かない。

- 8回裏、井原高校の攻撃。先頭打者に四球を与えてしまう。二死から、失策により出塁を許し、二死一・二塁。
しかし、後続を抑え、3点差で最終回へ。
- 9回表、矢掛高校の攻撃。二死から猪原が、猛打賞となる3本目の安打で出塁。しかし、チャンスは作れず、県大会出場をかけた最終回の守備へ。
- 9回裏、井原高校の攻撃。三者連続内野ゴロに抑え、ここで試合終了。

矢掛高校は7-4で井原高校に勝利した。5年連続県大会出場をかけた大事な試合でみんな緊張した面持ちだった。しかし、それを感じさせないほどの、見事なバッティングを見せ、勝利をつかんだ。ずっと課題だった声掛け、そしてバッティング強化が今回はとても生かされていたと思う。守備面でも目立ったミスはなく、良い雰囲気ですべて試合に臨んでいた。今回の試合で、県大会出場が決まり、誇らしい成果を遂げた。しかし気を抜かず、日々の練習をおろそかにせず、県大会でも勝ち進められるよう、みんなで頑張っていきたい。

新チームの戦績

15 勝 2 敗 1 分